

2016 キューバ友好フォーラム

6月25日(土) 13:30~16:30 開場 13:00

会場

日本記者クラブ大会議室

TEL 03-3503-2721

東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル9階

最寄り駅は東京メトロ千代田線・日比谷線霞ヶ関駅、東京メトロ丸ノ内線霞ヶ関駅、都営三田線内幸町駅、JR新橋駅日比谷口

参加費 1000円(会員 500円) ※事前申し込みは必要ありません

シンポジウム

どうなる キューバ ☆ ラテンアメリカ

10年以上にわたって左派政権が席卷してきたラテンアメリカの政治情勢が、このところ急展開しつつあります。キューバは昨年7月、54年ぶりに米国と国交を回復、本年3月20日には、オバマ米大統領がキューバを訪れました。米大統領のキューバ訪問は88年ぶりのことです。

一方、昨年11月のアルゼンチン大統領選挙では、中道左派政権の与党候補が中道右派の候補に敗れ、同12月のベネズエラの総選挙では、反米左派の与党が野党連合に大敗しました。さらに、ブラジルでは、中道左派政権の大統領が、政府会計の粉飾に関わったとされる疑惑で職務停止に追い込まれました。

こうした急速なラテンアメリカの政治情勢の変化をどうみたらいいのか。変化の背景にあるものは何か。そしてこれから先、ラテンアメリカはどうなるのか。この地域の実情に明るい方々をお招きしてシンポジウムを開きます。



- 13:30 円卓会議からの挨拶/シンポジストの問題提起—現状認識・背景・展望(各20分)
- 14:45 休憩
- 15:00 シンポジスト間のやり取り、会場からの質疑等
- 16:30 終了予定(終了後交流会 参加費別途)

シンポジスト



小倉英敬さん

神奈川大学教授

国際関係論・ラテンアメリカ思想史専攻

1951年生まれ。青山学院大学大学院博士課程中退。86年外務省入省、中南米局、在キューバ大使館、在ペルー大使館、在メキシコ大使館在勤を経て、98年末退官。現在、神奈川大学教授。著書に『封殺された対話 ペルー大使公邸占拠 事件再考』(平凡社)、『アンデスからの暁光 マリアテギ論集』(現代企画室)、『メキシコ時代のトロツキ一』、『ラテンアメリカ1968年論』(新泉社)。



八木啓代さん

音楽家・作家

1982年、キューバ初訪問。87年(おそらく日本人として初)2か月にわたるキューバ・バックパッキング自由旅行を敢行、89年、日本初のキューバ旅行ガイド『地球の歩き方キューバ編』を執筆。80年代後半からメキシコシティとハバナを拠点にソロ歌手として活動。94年以後、日本のラテンジャズ・バンドHAVATAMPAのヴォーカリストとして活躍。『ラテンに学ぶ幸せな生き方』(講談社+α新書、2010)など著書多数。



伊藤千尋さん

ジャーナリスト・元朝日新聞記者

学生時代にキューバでサトウキビ刈りボランティアをし、「ジブシー(ロマ)調査探検隊長」として東欧を旅するなど、冒険をこよなく愛するジャーナリスト。特派員として中南米や東欧革命など激動の現場取材し、人々の声を伝えてきた。取材した国は75か国に上る。著書に『キューバー 超大国を屈服させたラテンの魂』(高文研)『反米大陸—中南米がアメリカにつくつけるNO!』(集英社新書)など多数

お問い合わせはFAXかe-mailで下記へ。

キューバ友好円卓会議

〒157-0073 東京都世田谷区砧8-15-14-101

FAX 03-3415-9292

e-mail: cuba.entaku.0803@gmail.com

どなたでも参加できます♪
お友達を誘ってご参加ください♪